

平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人とやま環境財団
理事長 永原 功

食品ロス削減のための「3010 運動[※]」推進へのご協力について（依頼）

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当財団の事業活動につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年 5 月に開催されました G 7 富山環境大臣会合において、食品やあらゆる資源の循環的な利用や使用量の削減を目指す「富山物資循環フレームワーク」が採択され、食品ロス・食品廃棄物対策等に取り組むことが合意されました。

現在、日本では、食べられるのに捨てられている食品ロスが年間約 632 万トン発生しており、これは世界全体の年間食料援助量の約 2 倍に相当します。

このような状況を踏まえ、当財団としましても、具体的な取組みとして「3010 運動」を推進することとし、経済団体等の皆様にも率先して取り組んでいただきたいと考えております。

つきましては、宴会時の食べ残しを減らすため、「3010 運動」を推進していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

敬具

※「3010 運動」とは

宴会時の食べ残しを減らすため、開宴後 30 分間および閉宴前 10 分間は、自分の席にて料理を楽しんでいただくキャンペーン

添付資料：宴会時の「3010 運動」の司会進行（例）

宴会時の「3010 運動」の司会進行（例）

	司会者
宴会開始時	本日の宴席では、食べ残しを少しでも減らすため、皆様に「3010 運動」に取り組んでいただきたいと思います。 開宴後 30 分間と閉宴前 10 分間は、自分の席にてお料理を楽しんでいただきたいと思います。
終了 10 分前	それでは閉宴 10 分前になりました。 皆様、自分の席にお戻りになり、お料理を楽しんでいただきたいと思います。